

令和二年度 自己評価報告書

令和3年 3月 3日

学校法人聖尚学園 認定こども園 今町天使幼稚園 えんぜる保育園

令和2年12月28日(月) 9:30~10:30 代表者会議 園長室於

参加者: 園長 副園長 主幹保育教諭 各学年代表保育教諭6名 看護師 管理栄養士 書記

…計12名

1. 本園の教育目標

- ◎神の愛のもとで心身ともに健やかに育つ子 「あかるくげんきなこ」
- ◎心に感じて表現できる感性を持つ子 「こころをすなおにひょうげんするこ」
- ◎頑張る心と生きる力を持つ子 「すすんでがんばるこ」

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

未来を生きる子どもたちのために、大切な幼児期に育みたい基本を大切に豊かな幼児教育を模索する。

その中でデイリープログラム(一日の流れ)の見直しと改善を重点的に行う。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	<p>◆デイリープログラムで見直した保育の流れを具体的項目をあげ評価する</p> <p>① 主体的な遊び 自由遊びの充実</p> <p>② 体力づくり</p> <p>③ 知的な活動 (ぐんぐんプリント,研究遊び)</p> <p>「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康な心と体 ・自立心 ・協同性 ・道徳性・規範意識の芽生え ・社会生活との関わり ・思考力の芽生え ・自然との関わり・生命尊重 ・数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ・言葉による伝え合い ・豊かな感性と表現 	A	<p><0歳児> 主活動の時間がきちんとできるようにした。発達に合わせた活動ができていた。自由遊びの時間もダンスや歌、リズムなど取り入れた。</p> <p><1歳児> 保育者が一緒になって遊ぶことで子ども自身も楽しんで遊べるようになった。ごっこ遊びに力を入れて、子ども同士の関わり、言葉のやり取りを促した。体力づくりではホールでかけっこ、バランスボード、保育室にもマットを敷いたりして体を動かすことができた。</p> <p><2歳児> 保育室ごとに分けてままごとコーナーまたはマット滑り台コーナーなど設置、自分で選んで遊べた。グラウンドやホールで思いっきり体を動かさせた。柔軟体操など少しずつぐんぐん運動を取り入れた。プレぐんぐんタイムを個別にやっていたがなかなか時間取れなかった。手先を使う遊びを取り入れた。</p> <p><3歳児> 外遊びやホール遊びで好きなことをして解放感を味わえた。ごっこ遊びを充実させ好きなことを選んで遊べた。サーキット遊びや保育室でも鉄棒等で体を動かさせた。体育教室の時間に習ったことを普段も取り入れた。朝早くからぐんぐんタイムに取り組み、個別に鉛筆指導等できた。文字に興味が出てきた。</p> <p><4歳児> 2階での生活でホールを活用できた。9時前から運動等の活動できた。マラソンを頑張った。 「～していい?」→「～したい、続きやる」等の前向きな言葉に。集中して長時間遊びが続く。続きの遊びもやりやすいようにルール作り。出しやすく片付けも自分たちでできるように。役割分担が子どもたちでできていた。研究遊びでは遊びこんで→次の遊びに行けた。・プリントは用意が簡単になり、取り組みやすくなった。ぐんぐんは進みがゆっくなりな子のフォローをどうするかが課題。</p>

		<p><5歳児></p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝プリントなど静の時間があったからメリハリついたスタートできた。・午後に活動の時間と自由な遊びの両方できた。・森で自由な中でも大切に使うこと、自然を守ろうという気持ちを育てられた。そこから自分たちの使う場所を気持ち良く保とうという気持ちも意識した・マラソン跳び箱ブリッジ頑張った。できないのが悔しい気持ち→練習する→できたことを喜びることができた。・自然について調べたり、学んだりできた。家庭での体験とのつながりもできた。 <p><延長保育></p> <p>ホールで体を動かして遊べた。園でしかできないことができていた。机でパズルや塗り絵などの集中する遊びもできた。異年齢での交流もできた。休息や補食の時間があったことで生活リズムがつき、家庭的な過ごし方に近づいたのでは。</p>
2	<p>子どもを大好きになる 一人ひとりの思いを大切に</p>	<p>A</p> <p><0歳児></p> <p>人見知りがあったり、慣れるまで時間がかかる子どもいたが、一人ひとりに合わせて職員が連携できた。延長保育でも工夫できた。保育者が助け合って、子どもに1対1の対応ができたのがよかった。</p> <p><1歳児></p> <p>子どもに笑顔で接すること、登園時は気持ちを特に丁寧に受け止めて対応することができた。一人ひとりの気持ちにこたえられるよう職員で連携できた。</p> <p><2歳児></p> <p>言葉を丁寧に受け止め、最後まで話を聞くことができた。抱っこやおんぶもして寄り添うことができた。一緒に楽しく遊ぶこと、大好きだと伝える。手が出る場合は話を聞く、代弁することができた。名前を呼んで沢山褒めて認めることを大切にした。</p> <p><3歳児></p> <p>新入園児や特別な支援が必要な子どもいたが、一人ひとり気持ちを受け止め、保育者が安心できる存在であるようにした。色々な子に対して安心感を持たせる関わりで徐々に落ち着いてきた。子どもたち同士でよく遊ぶように。子ども同士葛藤やトラブルあるがそれでも一緒に遊びたい気持ちが育つ。主体性を大事にしつつ保育者が介入するところをよく見定めていきたい。</p> <p><4歳児></p> <p>子どもの思いを大切にした→自由遊びでのびのびとした姿が見れた。主張をする子の声が大きく、しない子が後回しになっていないか反省。・異年齢の遊びでは安全面での監視がメインになった点もあったが、子ども同士の関わりは伸びた。難しいが保育者も一緒になりつつ子ども主役でやって行きたい。</p> <p><5歳児></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの希望をできるだけ叶えようと手助けしたり子どもがやりやすいよう整えた→自分たちで準備するようになった ・運動等できるようになりたい気持ちに寄り添い、隙間時間を見つけて一緒に練習できた。

3	安心 安全 健やかな環境	A	<ul style="list-style-type: none"> ・安心安全、おいしい給食できた。来年からはプラス新たな工夫を持ってより良くしていく。 ・消毒は一年通してしっかりできた。・怪我で打撲や噛みつき跡はとにかくすぐ冷やすことを徹底できた。保冷剤の置き場等を工夫してさらに徹底していく。 ・保健室で体も休まるが、心も休まり、落ち着いて回復していく子どもの姿があった。いい場所になっていた。 ・環境設定で忙しい中でもマットが敷いてあったり、安全面に配慮することができた。 ・見るだけでなく、声に耳を澄まして、危ないことをしていないか気をつけることが大切。 ・少し危なそうでも子どもの挑戦、主体性を妨げないよう見守ることもある。 ・施錠や開錠はセキュリティに気をつけて昨年より改善できた。・物がずれている、揃っていない、出っぱっている…等を見たときは手間でも直す心がけをしている。これからもみんなでしていきたい。
---	--------------	---	---

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理由
A	それぞれの目標を持って頑張っていた。学年の中での見通しを持って取り組むことができていた。子どもを「まんなか」においた保育と次の学年への繋がりを意識していきたい。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	日々の保育の中で「問い」を見つけ出す	R4 年公開保育を見据え、日々の保育の中で「問い」を見つける。思ったこと、疑問、困ったな、こうしたい…等の思ったことを書いて貼る。「問い」を見つけることを習慣にする。
2	デイリープログラムの見直し1年目を踏まえこれから2年目どうしていきたいか。さらなる充実を目指す	<ul style="list-style-type: none"> ・ホールの使い方をこれまで通り工夫していく ・異年齢交流保育わくわくタイムの見直し ・45分間ぐんぐんタイムを大事にしてい ・トイレトレーニング期をどうしていくか見直し。家庭と連携しつつ園が主導で進めていく。
3	安心・安全・健やかな環境	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで通り、安全面に配慮した活動ができるようにする。 ・園に「森棟」が加わったので子どもたちと森を大切にする気持ちを持っていく。 ・グラウンド、園庭、園舎含め、環境を大切にする。保育者の姿勢からそれを示していく。

6. 来年度重点的に取り組む目標・計画（案）

4月から園名が変わる。伝統や今までの資源に感謝して生かしつつ、よりよい歴史をつくっていきけるようにする。具体的には、日々の保育の中で「問い」を持ち、考えることで気づきや改善点を見つける。デイリープログラム改定2年目になり、1年目の反省を生かしどうしていくか考える。また環境を大切に守っていく。

7.学校関係者評価委員会の評価

＜保護者代表の方4名による評価＞令和3年1月22日

- ・森で遊んで穏やかになったように感じる。
- ・進んで学習に取り組む姿勢。メリハリと心の安定がある。
- ・怪我もあるが、すぐに報告してくれるのでよく見ているのだと思う。
- ・子どもが好き、かわいがってくれているのがわかる。
- ・苦手なことがあり「行きたくない」と言うこともあるが、園ではできたことを認めてくれて、子どもからの嬉しい報告もたくさんあるので、心配はしていない。
- ・温かい言葉がけ、期待ができる言葉で誘いかけてくれるのでありがたい。安心。
- ・連絡帳では臨場感ある記述で園でのエピソードを伝えてくれる。よく見てもらっているとを感じる。
- ・忘れ物が多くてもフォローしてもらえありがたい。
- ・アンケートに出た要望に応じてもらえ、助かる。(例：スプーン持参のお知らせメール)
- ・園行事は中止や縮小が多かったが、コロナ対策を考えながらやってもらって感謝。

＜地域の皆様（学園評議員や理事の方々）による評価＞令和3年2月26日

- ・自然や農園体験ではいつも子どもたちが楽しそうな様子であり、それが一番。
- ・子どもの表情が豊か。
- ・衛生面、清潔な環境はコロナ対策以前から取り組みがあってよい。
- ・体調不良の子どもも今年は少なく、対策がよくできている。
- ・朝の学習タイムにスムーズに入れる工夫がある。
- ・職員がおだやか、和やかに子どもに接している、対応が丁寧。
- ・森棟の環境が豊かで素晴らしい。開放感があって自然に触れ合える環境がある。
- ・給食の栄養面でもより良くしていこうとしている。
- ・一年を通しての子どもの成長が素晴らしい。その年の子どもたちに合った指導がされている。
- ・子どもが自ら発見→集中して遊ぶ。主体的な姿がある。
- ・研究遊びレポートを見ると様々な取り組みがなされているとわかる。
- ・ICT教育に期待する。